



KONICA MINOLTA

News Release

世界最大のAIコンペ「Kaggle」で金メダルを受賞 ～データサイエンティスト・AIエンジニア3名が10位入賞～

2022年6月28日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：大幸 利充、以下 コニカミノルタ）のデータサイエンティスト・AIエンジニア3名が、世界最大のAIコンペプラットフォーム「Kaggle（カグル）」主催の「Image Matching Challenge 2022」で10位に入賞し、上位入賞者に授与される金メダルを受賞しました。

Kaggleのコンペには世界トップレベルのデータサイエンティストや機械学習エンジニアが多数参加しており、この度の受賞は、コニカミノルタのデータサイエンティスト・AIエンジニアの発想力と技術力が世界的に認められたものと考えています。

【受賞者】

コニカミノルタ株式会社

技術開発本部 FORXAI開発センター AI技術開発部 岡崎 智也、池田 信

情報機器開発本部 DX開発推進センター 氏家 広之

【コンペの概要と成果】

今回のコンペ「Image Matching Challenge 2022」では、異なる視点から撮影された2枚の画像の対応関係を正確かつ高速に推定するAIアルゴリズムを開発することでした。約1万ペアの対応関係について、規定時間内により正確に推定できるかが競われました。

今回、コニカミノルタのデータサイエンティスト・AIエンジニア3名と他1名で構成されたチームは、画像の重要な領域を切り出す際の工夫、処理のパイプライン化による高速化、Validation戦略などによって、高得点をマークしました。特に処理のパイプライン化による高速化では、今回のタスクがGPU処理だけでなくCPU処理にも多くの時間がかかっていることに着目し、それぞれの処理が同時並列に動くよう実装変更することで、規定時間内に多くの機械学習モデルを実行できるようになり、スコア向上に大きく寄与したと考えています。

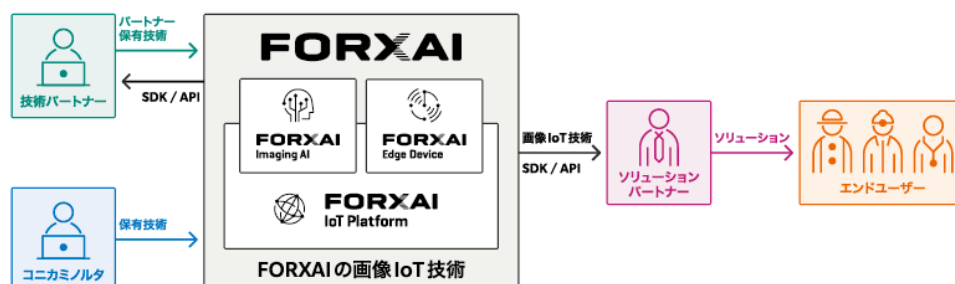


【コニカミノルタのICT人財とFORXAI】

コニカミノルタは、画像IoT、AIに関わる人財の強化と育成に力を入れており、中期経営計画「DX 2022」においてDX（デジタルトランスフォーメーション）を加速するICT人財を1,000人規模にしていく計画です。今回のコンペにおいても会社のハードウェア資産の活用を認めるなど、

エンジニアの研鑽を支援しています。

これら高い技術を保有したICT人材が、コニカミノルタの画像IoTプラットフォーム「FORXAI(フォーサイ)」を支えています。



「FORXAI」は、職場や現場が抱える課題を見える化し、解決することで、DXを加速させることを目的として開発された画像IoTの共創型統合プラットフォームであり、コニカミノルタ固有の技術に加え、パートナー企業の保有するさまざまなIoTやAIの技術で構成されています。

この度の受賞者も、画像を中心とした高速・高精度なAI処理の技術群「FORXAI Imaging AI」において、AI開発に日々取り組んでおり、すばやく高品質なソリューションを創出することで、世界中の働く現場の進化や安全・安心な社会の実現への貢献を目指しています。

【 Kaggleについて 】

Kaggleは、企業や研究者から投稿されたデータを題材に、世界中のデータサイエンティストが参加して最適モデルを競うコンペが開催される、世界最大の予測モデリングプラットフォームであり、それを運営する企業の名称でもあります。また、現在はGoogle社がKaggle社の親会社となっています。

Kaggleには、統計学、数学などの分野から、著名なデータアナリストを含む、全世界194カ国800万人以上のユーザーが登録しており、コンペ参加者は、多様なアルゴリズムや計算手法を試行して、期限内に最適なモデル構築を目指して競争します。また、多くの研究機関や企業と提携しており、最近ではHIV研究、ヒッグス粒子研究、交通量予測などに貢献し、課題解決につながっていることが知られています。

報道関係お問い合わせ先

コニカミノルタ株式会社 広報部
担当：新（アタラシ） Tel：080-9367-7008
※新が不在の場合は北（070-3669-8853）へ